

経営比較分析表（令和6年度決算）

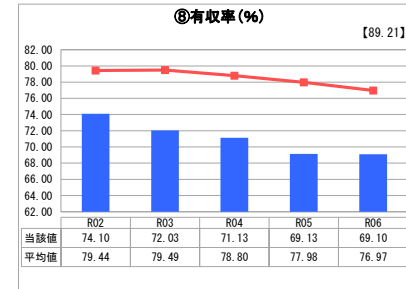
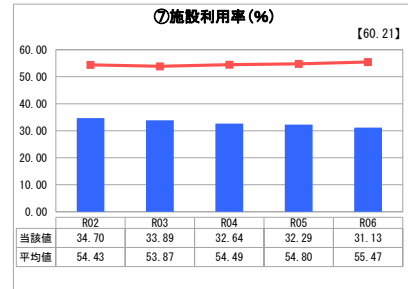
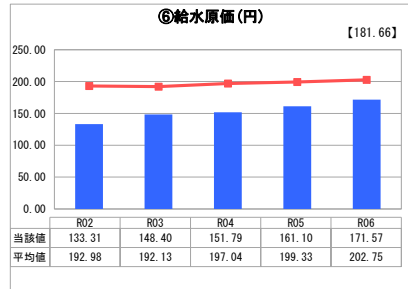
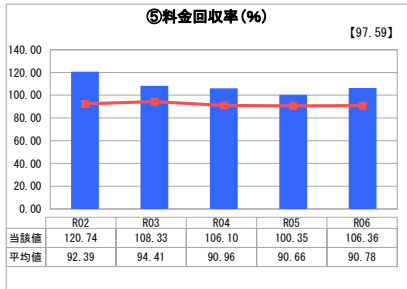
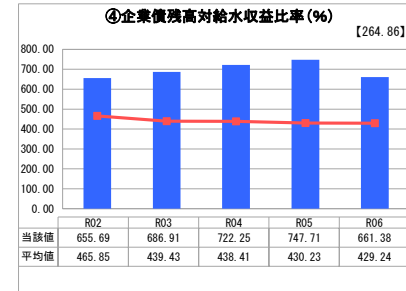
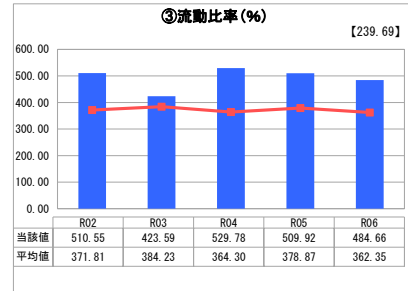
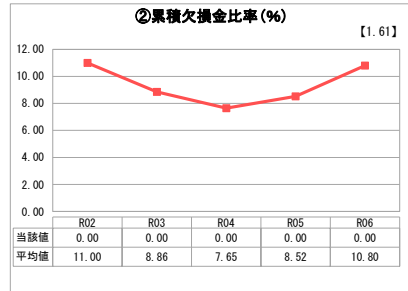
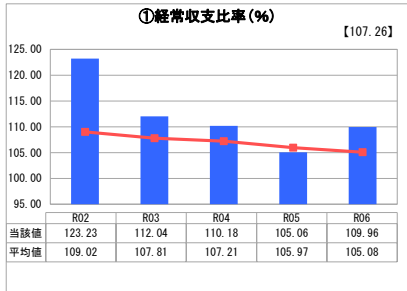
高知県 室戸市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり客産料金(円)	
-	49.67	93.73	3,388	

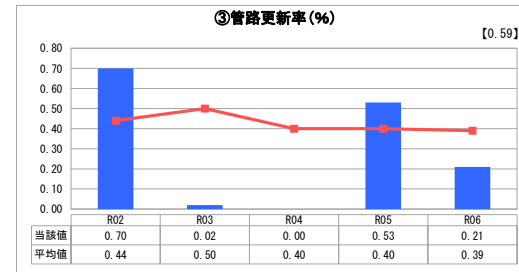
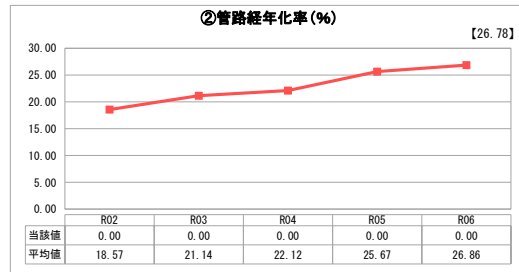
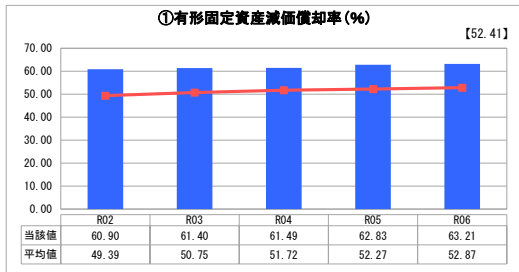
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,273	248.22	45.42
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
10,397	12.34	842.54

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は109.69%であることから単年度収支は黒字経営であり、累積欠損比率は0%で推移しており、健全な経営が保たれていると考えられる。

しかしながら、企業債残高対給水収益比率が平均より高く未だ多額の償還が残っていることから、今後の償還額と借入とのバランスを考慮しながら企業債の発行額を抑制し、借入残高を減少させていく必要がある。

施設利用率や有収率については平均よりかなり低く、効率的な施設稼働が出来ていない状況である。施設の老朽化が顕著であり、漏水の頻発等が有収率を下げている主な原因である。

給水量が収益に結び付きよう水道施設等の修繕等に重点を置き、将来の給水人口減少を踏まえた施設の統廃合やダウンサイジング等の検討を行うことが必要である。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率については高い数値を示しており、法定耐用年数に近い資産が多く施設更新の必要性が高いことがわかる。

老朽化した水道管については計画的に更新しており、耐震管の布設替えを順次進めているところである。

また専門機関に漏水調査を委託し、漏水箇所を特定し早急に漏水の修繕を行っている。

全体総括

室戸市は沿線が長い地形であると共に管路延長も長く水道施設が点在していることから、多くの施設管理を行いそれに伴う費用も必要となっている。

しかしながら人口減少による給水収益の減少や近年の職員給与費の増加、物価高騰による営業費用の増加の影響もあり再度、料金の値上げや繰入金の検討が必要である。

水道施設において耐用年数を過ぎ更新の必要性がある中、自然災害等に備え老朽管の布設替えや施設の修繕等を進め有収率の向上に努めているがベテラン技術職員の退職に伴う水道事業全体のサービスの低下や新たな技術職員の人材確保などの課題がある。

起債については収支のバランスを見ながら借入を行っているところである。

今後とも健全な水道経営を行うため、市や県と広域連携を見据えた検討を行うことが必要である。